

インクルーシブなデジタルクラスの作成 Microsoft Teams for Education の活用



児童・生徒の能力はさまざまです。また、視覚や聴覚に配慮が必要だったり、母語が日本語ではなかったりもします。Microsoft 365 に含まれる Microsoft Teams は、そうした児童・生徒がより容易に授業や宿題に取り組めるよう支援するユーザー補助機能を幅広く搭載しています。イマーシブリーダーのような学習ツールは、効果が実証されている技術を採用しており、児童・生徒の能力を問わず読み書きをサポートします。

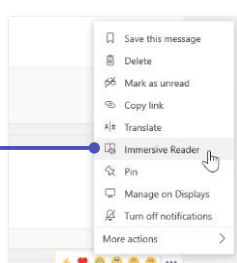
このガイドでは、Teams の主なユーザー補助機能とその使用方法をご紹介します。

1 イマーシブリーダー

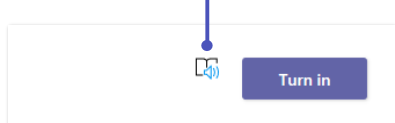
読字障害や学習に困難を抱えている児童・生徒の読みやすさや読解力の向上に活用できます。イマーシブリーダーは、Teams やマイクロソフトのアプリ (Word, OneNote, PowerPoint, Flipgrid, Edge など) に組み込まれています。

デスクトップからイマーシブリーダーを起動するには、[その他のオプション] パネルを開きます。

モバイルデバイスでは、メッセージの長押しからイマーシブリーダーを起動します。



課題からイマーシブリーダーを起動するには、デスクトップまたはモバイルデバイスで課題を開いてから [イマーシブリーダー] アイコンを選択します。



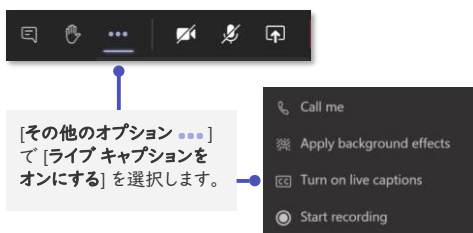
イマーシブリーダーでは以下のようなことが可能です。

<p>多彩な音声でテキストを読み上げる</p>	<p>テキストオプションから文字のサイズ、間隔、フォント、色を調整する</p>	<p>文法オプションからさまざまな品詞を強調表示する</p>	<p>行のフォーカスやテキストの翻訳 (110 以上の言語に対応) を行う</p>
-------------------------	-----------------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------------

2 ライブ キャプション

聴覚障害や読字障害があったり、集中できるようサポートが必要だったりする児童・生徒のために、Teams では、授業やミーティングでの発言を検出し、発言者の属性と共にリアルタイムで字幕を表示することができます。

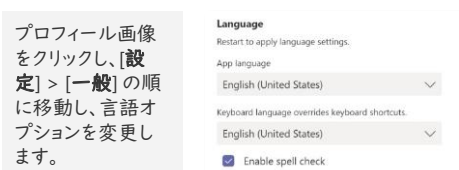
また、CART (Communication Access Realtime Translation) サービスを連携させて、ミーティングやイベントの際にプロ仕様のツールによるリアルタイムの文字起こしを行うことも可能です。(近日提供予定)



3 メッセージの翻訳

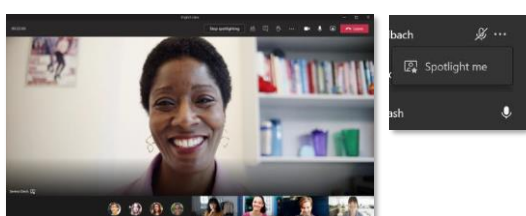
母語が異なる児童・生徒のために、メッセージを任意の言語に翻訳するように Teams を設定できます。

Teams の翻訳機能は現在 35 以上の言語に対応しており、デスクトップ版とモバイル版の両方のアプリで利用できます。



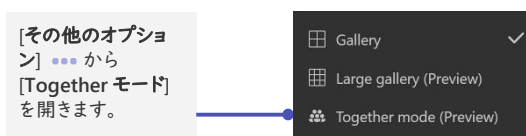
4 オンライン授業に役立つスポットライト機能と Together モード

スポットライトを利用すると、特定の人物のカメラ映像をクラス全員の画面にピン留めして、全員で同じ画面を見るようにすることができます。聴覚障害のある児童・生徒が授業に積極的に参加できるようにするには、教師と手話通訳者の両方にスポットライトを設定します。



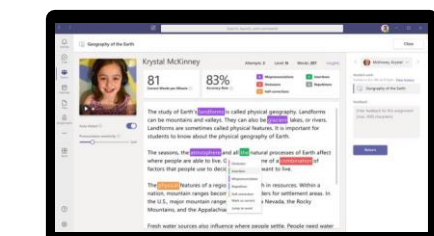
自分の名前の横にある [その他のオプション] をクリックし、[スポットライトを自分に設定する] を選択してカメラ映像をピン留めします。

Together モードでは、授業に参加している児童・生徒が 1 つの仮想空間に集まっているように表示されるため、つながりを感じやすくなり、認知的負荷が軽減されます。



5 いつでも音読の練習ができる Reading Progress

Microsoft Teams に組み込まれた新しいツールである Reading Progress では、児童・生徒が自分に合った音読課題に 1 人で取り組み、読む能力を高めることができます。また、Education Insights で収集、分析されたデータを通じて、効率的に学習状況を評価できるため、教師の時間の節約にもなります。Reading Progress の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。



組み込みの自動検出機能により、読み間違いを簡単に把握できます。この機能では、児童・生徒が提出した録音データから、誤読、挿入、省略、繰り返し、自己訂正の部分が自動検出され、フラグが立てられます。

統合ダッシュボードでインタラクティブに学習状況やインサイトを追跡、共有できるため、その児童・生徒の具体的な音読の課題を見つけ、1人ひとりに合わせて指導できます。

6 Office 365 のその他のユーザー補助機能

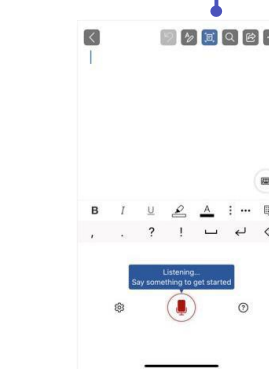
Teams では、プレゼンテーション、ドキュメント、ノートブックなどの Office 365 のファイルを直接開けます。Office 365 のさまざまなアクセシビリティ機能によって、すべての児童・生徒が参加しやすいインクルーシブな学習環境を実現できます。

ディクテーションでは、音声から文字起こしができます。Word、Outlook、OneNote、PowerPoint で利用可能です。

デスクトップ版や Web 版の Word でのディクテーション

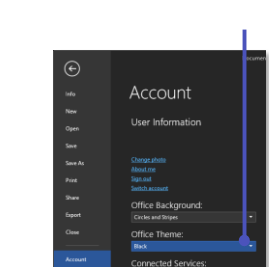


モバイル版の Word でのディクテーション

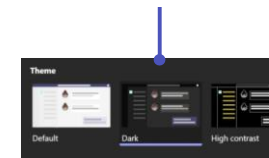


ダークモードは、目の疲れや負担を軽減します。Teams、Word、Outlook、OneNote、PowerPoint、Excel で利用可能です。

[ファイル] メニューから [アカウント] タブを選択し、Office のテーマを「黒」や「濃い灰色」に変更します。

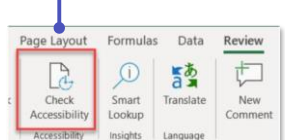


Teams の [設定] から [一般] タブを選択し、「既定」「ダーク」「ハイコントラスト」の各モードに切り替えます。

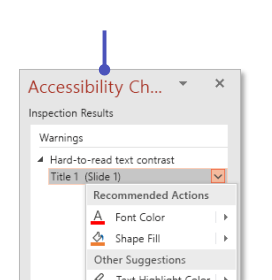


アクセシビリティチェックは、視覚障害のある保護者や児童・生徒が利用しやすいコンテンツになっているかどうかを確認できます。Word、Outlook、OneNote、PowerPoint、Excel で利用可能です。

[校閲] タブで [アクセシビリティチェック] を選択します。



ファイルのアクセシビリティを高める方法に関する推奨事項を検査結果から確認します。



[マイクロソフトのアクセシビリティソリューションの詳細についてはこちらをご覧ください。](#)

